



DNW-23011 の概要

課題名 : プロテアソーム経路を標的とした難治性急性骨髄性白血病の新規
低分子化合物の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

角南 義孝 (学校法人東京医科大学医学総合研究所)

ステージ: 標的検証後期

【標的疾患】

急性骨髄性白血病

【創薬標的】

タンパク質 X

【創薬コンセプト】

急性骨髄性白血病で高発現しているタンパク質 X とタンパク質 Y の相互作用を標的とすることで、プロテアソーム経路を抑え、副作用の生じる可能性が低い新規治療薬

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) タンパク質 X の発現量と急性骨髄性白血病患者の予後に相関がある。
- 2) タンパク質 X とタンパク質 Y は直接的な相互作用により、プロテアソーム経路を活性化する。
- 3) 腫瘍細胞株においてタンパク質 X 又はタンパク質 Y を抑制すると造腫瘍性が抑制された。

【支援ステージにおける目標】

タンパク質 X とタンパク質 Y の相互作用を検出する系を構築し、タンパク質 X の機能を阻害する物質のスクリーニングを可能とする。

【関連特許】

なし

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部

E-mail : id3desk@amed.go.jp